

北海道新幹線と東北新幹線の見分け方

ここが違う

2016年3月26日の北海道新幹線開業と同時に運行を開始したJR北海道H5系は、JR東日本E5系の兄弟車です。かたちがそっくりなH5系とE5系ですが、いくつかの違いがあります。ここではH5系とE5系の違いを見てみましょう。

POINT おび帯の色

外観の違いは帯の色です!

E5系ではつつじピンクとなっている帯の色ですが、H5系は彩香パープルとなっています。これは北海道のラベンダーなどをイメージしたもので、外観でH5系とE5系を見分けるポイントとなります。

POINT メカニズムはまったく同じ!

H5系とE5系のメカニズムや性能はまったく同じです。H5系もE5系のようにE3系やE6系と連結することができます。

POINT ロゴマーク

2種類の「ハヤブサ」が飛翔

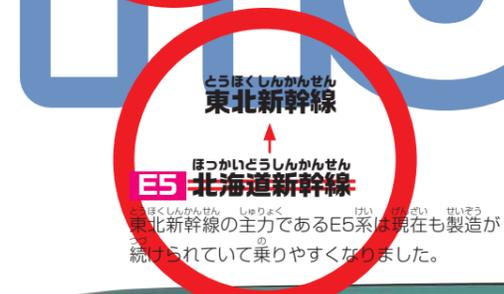
E5系のロゴは「ハヤブサ」がモチーフとなっていますが、H5系のロゴは北海道に飛来する「シロハヤブサ」がモチーフとなっているのが大きな違いです。またH5系は北海道を思わせるデザインになっているのも特徴です。



POINT グランクラスのカーペット

床のデザインが違います

H5系のグランクラス、グリーン車、普通車の床のデザインが北海道をイメージしたものになっています。また普通車のカーテンのデザインも雪の結晶の模様になっています。



POINT ドアの内張り

H5系普通車のドアはグリーン

H5系ではデッキのドアのカラーを独自のものにしました。普通車はJR北海道をイメージしたグリーンとしています。またグリーン車やグランクラスのカラーも紫色として、E5系のエンジ色とは違うものになっています。